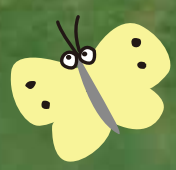




2015 8月
AUGUST

みどり まな や
緑の学び舎
ニュース
レター



芝生化DATA

園児数	185名
芝生化面積	330㎡
芝生が完成した時期	平成22年度

特集
幼稚園
レポート

中央区立月島幼稚園

(表紙の幼稚園)
安心して伸び伸び遊べる幼稚園/
私たち芝生部です! / 親子で遊ぼう!



芝生が園児たちを生き生きと育てています。

見上げれば、高層ビルとマンションが空を区切ります。月島幼稚園は典型的な都会の幼稚園。園庭を芝生にしてから、暑い真夏でも外で遊ぶ園児が圧倒的に増えました。転んでも痛くないから思い切り走れる、裸足でも足の裏が熱くない、トンボが来る、匂いがいい...芝生の園庭は、子供たちの遊び場だけでなく、新しい発見の場にもなっているようです。

Contents

- 教えて! 専門家さん
- 隣の芝生化校訪問
- 東京都補助制度の御案内
- 校庭芝生の親方・匠
- 認証式 / 校庭芝生リーダー養成講座 / すごいぞ! 親方

特集 幼稚園 レポート

東京都は公立幼稚園の園庭芝生化を推進しています。
今号では園庭芝生化の先駆的存在として知られる月島幼稚園を御紹介します。
園庭を芝生化してから、園児たちは思い切り走り回り、寝転び、
元気一杯遊び回っています。



中央区立 月島幼稚園

子供たちが安心して伸び伸び遊べる 幼稚園になりました！



インタビュー



『芝生は、伸び伸び
遊びながら
自然に体力も
養ってくれるのです。』

岩城眞佐子
園長先生

体操の先生が運動を指導する園と、自然のままに全身を使って遊ぶ環境のある園とでは、自然のままに遊んでいる園の方が子供たちの体力が高いそうです。芝生化することで、転んでもケガをすることが少なく、思い切り走り回ることができるようになりました。自然と体力が身に付いていくでしょうね。芝生化によって子供たちに自然を感じてもらえることも大切ですが、体力を養うことにも大きな役割を果たしていると思います。

月島幼稚園は、園児の安全などを考慮して平成22年度から芝生化しています。もともと合成樹脂系の舗装であった園庭を芝生化したきっかけは、周囲の環境でした。ビルやマンションに囲まれた立地条件では、園児たちが自然に接する機会が少ないだけでなく、安心して遊べる場所も限られます。芝生化後は、夏でも合成樹脂系の舗装に比べて地表温度が低いため、園庭で遊びやすくなりました。また、虫やちょうががたくさんやってくるため、生き物に触れる機会も増えました。保護者も子供たちが安心して伸び伸び遊べると喜んでいました。

私たち芝生部です！

みなさんが楽しく参加できる
環境作りを心掛けています。

月島幼稚園の芝生の維持管理をしているのは保護者及び園の教職員です。そのリーダーシップを担うのが、PTA組織の一つの「芝生部」です。芝生化当初はノウハウもなく、何をしたらよいか分からなかったため、維持管理をうまく行っている学校に赴いて、ノウハウを蓄積しました。それが「芝生部の記録」として残され、現在の芝生部はそれを参考にしながら維持管理を行っています。副部長の盛涼子さんは「保護者全員が管理に参加していただいています。皆さんに楽しく参加していただけることを何よりも大切に、作業のレクチャーやスケジュール作りをしています。」と語ってくれました。



芝生部のお仕事

部員は10人。芝刈り作業は毎週火曜日と金曜日。ゴミや雑草を取り除いてから、「ぞう」「こあら」「ろば」など、草食動物の名前が付いた芝刈り機で芝を刈ります。施肥、水やりなどは専門家が毎月提出する「芝生点検報告書」の指摘など(※)に従って行っています。



雑草やゴミを取り除いて…

お母さん目線で 芝生をPR

- ケガを怖がらないで遊ぶようになりました。
- 芝生の匂いは情操教育にもいいと思います。
- 裸足で走り回るのはなかなかできません。私たちももっと頑張ります！
- 虫やちょうなども来るので、虫好きの子供が喜んでます。
- 芝生は真夏でも足の裏が熱くなりません。裸足でどんどん遊んでほしいです。



芝刈りをします。

※東京都の補助を使い芝生化すると、芝生点検作業などの専門的維持管理作業について、5年間補助を受けることができます。(詳細は、「東京都補助制度の御案内」ページを参照ください。)

芝生は
親子の心の
ふるさと

親子で遊ぼう!

お母さんたちも一緒に芝生を楽しむイベントです。

月島幼稚園では、親子が芝生の上でゲームを楽しむ「親子で遊ぼう!」を実施しています。みんなで芝生の感触を楽しむというのも目的の一つ。先生のリードで「バスに乗って」「じゃんけん列車」「ジャングルリレー」などを楽しみます。万が一転んでもけがをしにくい芝生なので、お母さんも伸び伸び。お母さんと子供、お母さん同士、子供同士のコミュニケーションも生まれます。ゲームの後は芝生の上で楽しいお昼ごはんが始まります。「芝生の感触、芝生の匂い、楽しい時間、開放感など、芝生の園庭は、親子にとって心のふるさとになるのではないのでしょうか。」と岩城園長先生が語ってくれました。



バスに乗って

バス代わりのお母さんの膝の上で揺れたり弾んだり。お母さんもお尻が痛くなりません。

転んでも
痛くないよ~



じゃんけん列車

じゃんけんと思わず熱が入ります。最後は一列の長〜い列車になりました。

裸足で歩くとね、
気持ちいいよ~



思い切り
走れるんだ!



ジャングルリレー

子供を抱いて走ったり、ケンケンしたり、おんぶしたり…どんなに走り回っても足元はフカフカです。

ふかふかして、
いい気持ち♪



教えて!
専門家さん

芝生化前後において、
自然条件(日照や気候など)などで
考慮することはありますか??

公益財団法人 都市緑化機構
研究部 主任研究員
いちじょう よし かつ
一條 良賢 さん



一芝生化前 芝生のレイアウト

月島幼稚園のような都心部の幼稚園または学校では、周囲を高層建築物で囲まれていることがあります。日照不足の場所では芝生の生育力が弱く、擦り切れたり活着しにくかったりします。月島幼稚園では、日照条件を考慮し、高層建築物が建っている側を合成樹脂系の舗装にしてあります。芝生のレイアウトは、その後の維持管理に大きく影響するため非常に重要です。



一芝生化後 維持管理段階

芝生化後は、自然条件のほかにも幼稚園や学校が置かれている環境条件などによって、芝生の生長が異なります。小笠原小中学校のような島しょ部の学校では、児童・生徒数が少なく運動場が広いため、芝生がよく育ち傷みにくい環境にあります。芝生の生育に好条件がそろうため、施肥を抑え芝生の成長を緩和し、芝刈りを楽にすることができます。また、島しょ部の芝生化校における最大の課題は、散水用の水の確保です。散水を抑え気味にすると芝生の根がよく伸び、湯水に強くなります。

このように各学校(園)で条件が異なるため、学校にあった維持管理を行うことが望ましいです。

東京都では芝生化後はもちろん、芝生化前の相談にも応じています。お困りのことがありましたらサポートいたしますので、ぜひ御連絡ください。



お問合せ

公益財団法人都市緑化機構 (担当: 一條・今井)
TEL.03-5216-7191 FAX.03-5216-7195

隣の芝生化校訪問

このコーナーでは、芝生化校の取組や維持管理活動における工夫などを紹介していきます。



東京都には、太平洋上に浮かぶ、大小様々な島があります。島しょ地域の公立小中学校では、多くの学校が芝生化しています。今回は、東京都庁から南に約1,000kmに位置する小笠原村立小笠原小学校・中学校を紹介します。

小笠原村立小笠原小学校・中学校

芝生化DATA	
児童数/生徒数	130名/52名
芝生化面積	6,020㎡
芝生が完成した時期	平成24年度

世界自然遺産・小笠原諸島ならではの芝生化への道のり

平成23年6月、小笠原諸島は、豊かで独特な自然の価値が認められ、世界自然遺産として登録されました。

その翌年、平成24年度に校庭を共有している小笠原小学校・中学校は芝生化しました。その際、本土から外来種混入の可能性があるものは島内に持ち込めないため、一般的な張芝(※)を行うことができません。そこで、既に島内で使われていた芝生を苗として植付け、時間をかけて育てる方法で、6,000㎡を超える芝生化に成功しました。

※…圃場(芝生を生産する場所)から四角形に芝生を切り取り、芝生化する場所に植え付ける方法



2か月後



6か月後



小笠原諸島の大自然と同じ。みんなで守り、みんなで育てていこう。

小笠原小学校・中学校では、両校長先生指揮の下、毎週水曜日を“芝生の日”としています。保護者や島民の力を借りつつ、異学年での活動として児童・生徒が維持管理作業を行います。小笠原小学校・中学校では、児童・生徒・教職員・保護者・島民・教育委員会事務局などで、協力し工夫しながら維持しています。



日常的な維持管理活動

- 児童・生徒
- PTA

それぞれの立場で、できることをできるだけ。

専門的な維持管理作業

- 造園業を営む島民

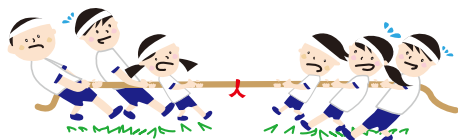
その他なんでも散水用の水の確保や養生期間中の代替施設の確保など

- 小笠原村教育委員会事務局



小中高連合運動会

父島の一大イベント・小中高連合運動会!



島民が一つになる日、それが都立小笠原高校も参加する小中高連合運動会です。みんなの愛情一杯に育てられた芝生の上で、島民も各種競技に参加して白熱の闘いが繰り広げられます。校庭が芝生になってからは、けがが減り裸足の競技が増えたそうです。



「隣の芝生化校訪問」掲載希望校を募集します。担当まで御連絡ください。



東京都補助制度の御案内

東京都は、都内の公立幼稚園、区市町村立小学校、中学校及び特別支援学校で芝生化、屋上緑化及び壁面緑化する際に、必要な工事費用を補助しています。

部分芝生のレイアウトは
オーダーメイド



補助制度の対象と補助率

補助金は対象経費の $\frac{1}{2}$ を補助します。

ただし、芝生の維持管理を地域協働で行う場合は
補助対象経費の **全額** を補助します。

小学校・中学校

芝生化面積が
250㎡以上の場合

※一定の要件を満たせば100㎡以上も対象
(校庭面積が小さい、芝の生育が難しい場合など)

公立幼稚園

芝生化面積が
50㎡以上の場合

駐車スペース4台分程度です。



面積の拡張

最初の事業補助の
翌年度から3年以内



小学校・中学校

屋上緑化・壁面緑化

屋上緑化したい

補助対象経費の全額を補助します。
(上限は1㎡当たり52,000円)

壁面緑化したい

補助対象経費の全額を補助します。
(上限は1㎡当たり29,000円)



芝生化検討中から利用できる多様な支援メニュー

芝生の専門家派遣

校庭芝生に関する疑問、相談に
芝生の専門家がお答えします。

- 校庭のどこを芝生にするべきか?
 - 芝生化前後に教職員や地域の方への芝生の基礎講習会を開催したい!
 - 自分の学校に適したアドバイスが欲しい!
- ⇒ 芝生化に取り組む学校に技術的サポートを実施

※問合せ先は、「教えて!専門家さん」コーナーにあります。

校庭芝生リーダー養成講座 緑の学び舎づくり 実務者講習会

- 芝生に関する基礎的な知識を習得したい!
- ⇒ 校庭芝生リーダー養成講座
- 学校や教育委員会の担当者として必要なノウハウを勉強したい!
- ⇒ 緑の学び舎づくり実務者講習会

校庭芝生化 地域連携事業

- 地域と協力して維持管理を行っていききたい!
- ⇒ 1校当たり24万円を上限として、芝生を通じた地域連携を支援します

出前芝生

- 本格的な芝生化をする前に、まずはお試しで行ってみたい!
- ⇒ 無料で天然芝生をお届けします。



専門的維持管理経費について

芝生化工事から **5** 年間、
補助対象経費の $\frac{1}{2}$ を補助します。

「専門的維持管理補助」とは

芝生の維持管理において、専門的技術を要する、更新作業、全面目土作業、播種作業、肥料散布作業、芝生点検及び芝生土壌診断を指します。



東京都の補助制度等について、詳しい内容を知りたい方は

東京都教育庁地域教育支援部義務教育課
校庭芝生化推進担当 (第一本庁舎北側40階)

電話 03-5388-3567

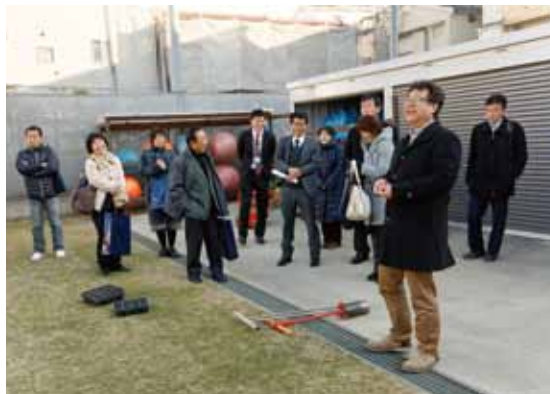
認証式

平成26年度「校庭芝生の親方・匠」認証式と 校庭芝生リーダー養成講座が開催されました。

平成27年2月14日

平成24年度から始まった「校庭芝生の親方・匠」の認証式が開かれました。第3回目となる平成26年度は、各校の教職員や維持管理団体のリーダーを中心に、「親方」が7名、「匠」が4名認証されました。校庭芝生化の頼もしい先達として、ますますの御活躍を期待しています。

認証式に引き続き、「平成26年度第3回校庭芝生リーダー養成講座」が開催されました。狛江市立狛江第五小学校、葛飾区立東金町小学校、品川区立第一日野小学校の「親方・匠」のみなさんが、芝生の維持管理や使い方、イベントなどについて発表しました。それぞれの学校の特徴的な取り組みは、芝生の維持管理に携わる方やこれから参加される方のスキルアップを応援する講座となりました。



校庭芝生の親方匠とは
TAKUMI
OYAKATA

東京都教育委員会は、校庭芝生の維持管理に継続的に取り組み、多大な貢献をされ、体制の構築やとりまとめに尽力された方を「親方」、技術的な指導に尽力された方を「匠」として認証しています。

平成26年度 校庭芝生の 親方

- 近江 清光** (おうみ きよみつ)
■ 品川区立第一日野小学校日野芝生リーダー委員長
- 相馬 季子** (そうま としこ)
■ 杉並区立和泉小学校 校長
- 上田 知子** (うえだ ともこ)
■ 葛飾区立東金町小学校 学校地域応援団 地域コーディネーター
- 池田 泰章** (いけだ ひろゆき)
■ 立川市立新生小学校 校長

- 岡田 実** (おかだみのる)
■ 三鷹市立第一小学校 校長
- 藤井 泰範** (ふじい やすのり)
■ 調布市立深大寺小学校 PTA会長及び 学校支援地域コーディネーター
- 住友 和子** (すみとも かずこ)
■ 狛江市立狛江第五小学校 グリーンプロジェクト顧問

平成26年度 校庭芝生の 匠

- 森田 武** (もりた たけし)
■ 足立区立中島根小学校 開かれた学校づくり協議会委員
- 大柴 昇** (おおしば のぼる)
■ 葛飾区立東金町小学校 学校評議員
- 皆川由起子** (みながわ ゆきこ)
■ 調布市立深大寺小学校 学校事務
- 中沖 理恵** (なかおき りえ)
■ 狛江市立狛江第五小学校 グリーンプロジェクト代表

すごいぞ! 親方



岡田 実
三鷹市立第一小学校 校長

●受賞年度
平成26年度

校庭芝生の親方(又は匠)にお話を伺う「すごいぞ!親方」。
今回は、平成26年度に親方に認証された三鷹市立第一小学校の岡田 実 校長先生をお訪ねしました。

『芝生の専門家と力を合わせ、地域ぐるみで芝生を育てる』

地域に協力を呼び掛け

「一小グリーンサミット会議」を創設

同校は平成21年3月に、校庭の周囲約1,000㎡を芝生化しました。三鷹市内で初の芝生化校とあって、試行錯誤の繰り返しだったそうです。「今だから言えますが、最初はよく枯れましたね(笑)。当時は児童が約800人もいたので、踏圧による傷みや日照条件によって生長に差が出たり、とにかく大変でした。学校だけで維持管理していくには、限界があるなど感じました。」と岡田校長先生。そこで芝生化3年目に、学校関係者に呼びかけて『一小グリーンサミット会議』を立ち上げます。協力を依頼したのは、合同委員会(青少年対策委員会・交通安全対策委員会)、町会、PTA、おやじの会及び校庭利用団体などです。「それぞれの代表者に集まっていただき、芝生の維持管理に力をお借りしたい旨をお願いしたのですが、快く受け入れていただきました。改めて地域と学校がつながることの大切さを認識しました。」

専門家のアドバイスを受けるのが一番!

多くの方の協力を得て、順調に芝生が育っている第一小学校。専門家の存在は欠かせず、岡田校長先生をいつもサポートしてくれたそうです。「一小の芝生は、一小グリーンサミット会議の皆さんをはじめ、多くの方の協力で成り立っています。専門家である椿高幸さんには、技術面のみならず児童への対応や地域とのコーディネートまでお世話になっています。」それに対して椿さんは、「芝生の状態が悪かったあの時に、岡田校長先生が思い切って会議を上げたのが一番大きかったです。」とお話していました。



左側が専門家の椿さん

東京都教育委員会緑の学び舎づくり事業